

## I. 主要企業の 2009 年 Q2 (第 2 四半期) 動向レビュー

### 1. BHP Billiton

- ・ 2009 年 Q2<sup>\*1</sup> の銅鉱石生産量<sup>\*2</sup> は、対前 Q1 比 9% 増、対前年 Q2 比 21% 減となった。Escondida 鉱山 (チリ) の粗鉱品位上昇と、Cerro Colorado 鉱山 (チリ) と Antamina 鉱山 (ペルー) の生産能率が貢献している。
- ・ 銀生産量<sup>\*3</sup> は、対 Q1 比 24% 増、対前年 Q2 比 17% 増となった。Cannington 鉱山 (QL 州) の処理鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ 鉛鉱石生産量<sup>\*4</sup> は、対 Q1 比 24% 増、対前年 Q2 比 10% 増となった。Cannington 鉱山 (QL 州) の処理鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ 亜鉛鉱石生産量<sup>\*5</sup> は、対 Q1 比は 12% 増、対前年 Q2 比 2% 増となった。Antamina 鉱山 (ペルー) の鉱石品位の上昇と処理鉱石中の亜鉛鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ ウラン生産量<sup>\*6</sup> は、対 Q1 比 31% 増、対前年 Q2 比 12% 増となった。Olympic Dam 鉱山の鉱石処理量が記録的であったこと、回収率上昇が貢献している。
- ・ ニッケル生産量<sup>\*7</sup> は、対 Q1 比 2% 増、対前年 Q2 比 14% 増となった。対前年 Q2 比 14% 増は、2008 年 Q2 に Cerro Matoso (コロンビア) での生産一時停止した影響が改善したこと、Kalgoorlie ニッケル製錬所 (WA 州) で改修された炉の稼働開始が貢献している。
- ・ マンガン鉱石生産量は、対 Q1 比 32% 減、対前年 Q2 比 73% 減となった。需要減に対応する生産調整のための減産が影響している。
- ・ マンガン合金生産量は、対 Q1 比 76% 減、対前年 Q2 比では 87% 減となった。需要減に対応する生産調整のための減産が影響している。

(非鉄金属のみ記載)

\*1) 同社の会計年度は 6 月末締であるが、他社との四半期状況比較のため暦年に基づくものとし、4~6 月期を Q2 と呼ぶ。

\*2) 精鉱中の金属純分量と SxW カソードの合計

\*3) 精鉱中の金属純分量 (Olympic Dam 鉱山・製錬所の精製金、精製銀を含む)

\*4) 精鉱中の金属純分量

\*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量 (Nickel West)

\*6) 精鉱中のウラン酸化物量

\*7) Earnings before interest and tax

出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 June 2009, 22 July 2009

#### (1) トピックス

- ・ 2009 年 Q2 は、原料炭、燃料炭、石油、銅等、12 鉱種で生産量が増加した。うち、石油の生産量及び Hunter Valley 燃料炭鉱山 (NSW 州) について四半期生産記録を更新した。
- ・ 2009 年度 (2008 年 7 月~2009 年 6 月) では、石油、銅 (カソード)、鉄鉱石の生産量が年間記録量を更新した。うち、WA 州鉄鉱石、North West Shelf 石油 (WA 州)、Saraji 原料炭 (QLD 州)、Alumar アルミ製錬 (ブラジル)、Cerrejon 燃料炭 (コロンビア)、Zamzama 天然ガス (パキスタン) の生産量が年産記録量を更新した。

出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 June 2009, 22 July 2009

## (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2008年			2009年		
	通年	H1*1	H2	通年	H1*2	H2
売上高	63,714	33,934	29,780	20,431	20,431	
当期利益	11,990	9,373	2,617	3,260	3,260	
売上高利益率(%)	18.82	27.62	8.79	15.96	15.96	
探鉱費*3	804	308	496	578	578	

\*1 2007年7月～2008年6月の12か月分から2006年7月～2006年12月の6か月分を差引いた数値

\*2 2008年7月～2009年6月の12か月分から2008年7月～2008年12月の6か月分を差引いた数値

\*3 石油を含む

出典) BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2009, 12 August 2009

BHP Billiton Result for the Year ended 31 December 2008, 4 February 2009

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2008, 18 August 2008

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2007, 6 February 2008

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

## (3) 生産状況

## ① 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱 (k t)*1	717.1	190.7	221.0	159.4	146.0	254.5	116.7	137.8		
銅地金 (k t)*2	619.6	138.2	169.7	149.5	162.2	335.5	166.1	169.4		
鉛鉱 (t)*3	243,276	67,885	53,176	58,252	63,963	105,777	47,235	58,542		
亜鉛鉱 (t)*1	159,010	35,970	43,454	41,716	37,870	83,584	39,397	44,187		
金 (t)*3	5.1	1.2	1.2	1.3	1.4	2.8	1.3	1.5		
(oz)*3	163,480	37,515	38,424	41,751	45,790	88,740	41,747	46,993		
銀 (t)*3	1,314.8	349	287.3	320.4	358.1	607.3	271.5	335.8		
(k oz)*3	42,272	11,221	9,236	10,300	11,515	19,526	8,730	10,796		
ウラン(U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> :t)*4	3,990	993	1,027	1,110	860	2,037	883	1,154		
ニッケル (k t)*5	162.6	43.0	42.6	26.8	50.2	96.1	47.5	48.6		
モリブデン鉱石(t)*1	2,189	580	590	608	411	453	337	116		
マンガン鉱石(k t)	6,759	1,666	1,851	1,830	1,412	1,233	733	500		
マンガン合金(k t)	766	192	190	203	181	129	104	25		
アルミナ (k t)	4,481	1,095	1,149	1,098	1,139	2,159	1,051	1,108		
アルミニウム(k t)	1,242	318	305	309	310	614	304	310		
鉄鉱石 (k t)*6	117,522	28,419	29,924	29,824	29,355	55,236	28,188	27,048		
原料炭 (k t)*7	35,338	6,846	9,132	9,210	10,150	17,056	7,596	9,460		
燃料炭 (k t)	75,889	19,264	21,353	18,796	16,476	32,934	15,222	17,712		
石油等 (m boe)*8	136.92	32.73	36.23	34.80	33.16	69.23	31.67	37.56		

\*1 精鉱中の金属純分量

\*2 カソード

\*3 精鉱中の金属純分量 (Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

\*4 精鉱中のウラン酸化物量

\*5 ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分 (Nickel West)

\*6 Wet t (湿潤重量 t)

\*7 一部、燃料炭を含む

\*8 boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton : Production Report for the year ended 30 June 2009, 22 July 2009

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Escondida (銅 : k t) *1	554.7	157.0	178.2	116.8	102.7	198.1	86.6	111.5		
Escondida (銅カトド : k t)	148.1	30.1	40.3	35.6	42.1	94.4	45.0	49.4		
Cerro Colorado(銅カトド : k t)	104.1	28.7	27.3	21.8	26.3	54.0	26.5	27.5		
Spence (銅カトド : k t)	164.8	41.6	43.0	35.7	44.5	92.5	47.7	44.8		
Antamina (銅 : k t) *1	111.9	24.1	30.8	28.4	28.6	52.0	25.7	26.3		
Pinto Valley (銅 : k t)	50.5	9.6	12.0	14.2	14.7	4.4	4.4	-		
Pinto Valley (銅カトド : k t)	6.7	1.8	1.6	1.6	1.7	2.9	1.5	1.4		
Olympic Dam(銅カトド ER : k t)	182.6	32.9	53.2	51.9	44.6	85.3	42.7	42.6		
Olympic Dam(銅カトド EW : k t)	13.4	3.1	4.4	2.9	3.0	6.4	2.7	3.7		
Cannington (鉛 : t) *1	241,437	67,505	52,601	57,768	63,563	103,404	46,259	57,145		
Antamina (鉛 : t) *1	1,839	380	575	484	400	2,373	976	1,397		
Cannington (垂鉛 : t) *1	59,627	13,735	17,244	14,449	14,199	26,201	12,943	13,258		
Antamina (垂鉛 : t) *1	99,428	22,235	26,210	27,312	23,671	57,383	26,454	30,929		
Escondida (金 : t) *1	2.0	0.5	0.5	0.4	0.6	1.0	0.5	0.5		
(金 : oz) *1	67,392	17,660	17,501	14,391	17,840	35,064	17,469	17,595		
Olympic Dam (金 : t) *2	3.0	0.6	0.6	0.9	0.9	1.6	0.7	0.9		
(金 oz) *2	94,370	18,555	20,505	27,360	27,950	52,729	23,331	29,398		
Escondida (銀 : t) *1	93.9	24.6	25.5	20.8	23.0	42.2	20.9	21.3		
(銀 : k oz) *1	3,017	790	821	668	738	1,359	673	686		
Antamina (銀 : t) *1	113.4	25.0	30.9	29.0	28.5	69.8	31.2	38.6		
(銀 : k oz) *1	3,644	803	994	932	915	2,243	1,003	1,240		
Cannington (銀 : t) *1	1,074.9	293.0	223.4	261.0	297.5	479.4	211.6	267.8		
(銀 : k oz) *1	34,558	9,421	7,181	8,391	9,565	15,411	6,802	8,609		
Olympic Dam (銀 : t) *1,*3	25.2	5.3	5.6	7.0	7.3	14.3	6.2	8.1		
(銀 : k oz) *1,*3	826	169	179	244	234	459	200	259		
Pinto Valley (銀 : t) *1	7.1	1.2	1.9	2.0	2.0	1.66	1.6	0.06		
(銀 : k oz) *1	228.6	38.4	61.7	65.2	63.3	54	52	2		
Olympic Dam (U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> : t) *4	3,980	993	1,027	1,100	860	2,037	883	1,154		
Antamina (Mo : t) *1	2,049	580	590	514	365	484	318	166		
Pinto Valley (Mo : t) *1	140	-	-	94	46	19	19	-		
CMSA (ニッケル : k t) *5	41.6	7.8	10.1	10.7	13.0	26.8	13.1	13.7		
Yabulu (ニッケル : k t) *5	35.1	6.2	10.3	9.1	9.5	15.3	7.5	7.8		
Nickel West (ニッケル : k t) *5	85.8	29.0	22.1	7.0	27.7	54.0	26.9	27.1		
Yabulu (Co : k t) *5	1.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.6	0.2	0.4		
Worsley (アルミナ : k t)	2,969	712	768	733	756	1,435	688	747		
Paranam (アルミナ : k t)	970	247	240	241	242	452	226	226		
Alumar (アルミナ : k t)	542	136	141	124	141	272	137	135		
Hillside (アルミニウム : k t)	688	167	170	175	176	351	174	177		
Bayside (アルミニウム : k t)	123	44	29	25	25	49	24	25		
Alumar (アルミニウム : k t)	179	45	45	45	44	88	44	44		
Mozal (アルミニウム : k t)	252	62	61	64	65	126	62	64		
Mt. Newman JV (鉄鉱石 : k t)	28,494	7,265	7,013	7,210	7,006	12,221	6,440	5,781		
Goldsworthy JV (鉄鉱石 : k t)	1,215	386	251	232	346	838	558	280		
Area C JV (鉄鉱石 : k t)	33,665	7,114	8,626	9,209	8,716	17,588	9,181	8,407		
Yandi JV (鉄鉱石 : k t)	39,670	10,061	10,622	8,961	10,026	18,831	9,370	9,461		
Jimblebar (鉄鉱石 : k t)	5,215	1,660	1,054	1,461	1,040	2,412	1,070	1,342		
Samarco (鉄鉱石 : k t)	9,262	1,933	2,357	2,751	2,221	3,346	1,569	1,777		
南ア国内 (マンガン鉱石 : k t) *6	3,443	877	882	929	755	507	351	156		
豪州国内 (マンガン鉱石 : k t) *6	3,316	789	969	901	657	726	382	344		
南ア国内 (マンガン合金 : k t) *6	494	125	124	133	112	56	51	5		
豪州国内 (マンガン合金 : k t) *6	272	67	66	70	69	73	53	20		
BMA (原料炭 : k t)	23,905	4,232	6,508	6,384	6,781	11,543	5,165	6,378		
BHP Mitsui Coal(原料炭 : k t) *7	5,557	847	1,306	1,633	1,771	2,031	549	1,482		
Illawarra (原料炭 : k t)	5,876	1,767	1,318	1,193	1,598	3,482	1,882	1,600		
南ア国内 (燃料炭 : k t)	39,129	11,129	10,960	9,009	8,031	14,661	6,929	7,732		
米国内 (燃料炭 : k t)	14,492	2,636	4,834	4,005	3,017	7,114	2,907	4,207		
豪州国内 (燃料炭 : k t)	11,869	2,965	2,934	2,975	2,993	5,807	2,768	3,039		
ロシア国内(燃料炭 : k t) *8	10,420	2,553	2,625	2,807	2,435	5,352	2,618	2,734		

\*1) 精鉱中の金属純分量

\*2) 金地金

\*3) 銀地金

\*4) 精鉱中のウラン酸化物(U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>)量  
 \*5) ニッケル精鉱、地金及びニッケルマット中の金属純分量  
 \*6) 100%ベース(BHP Billitonの権益は60%)  
 \*7) 100%ベース(BHP Billitonの権益は80%)  
 \*8) 100%ベース(BHP Billitonの権益は33%)  
 出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 June 2009, 22 July 2009

#### (4) 開発(非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (m US\$)	生産 開始	生産能力*2	進捗状況
Alumar 精錬所拡張 (36%、ブラジル)	アルミナ	900	2009年 Q2	アルミナ 200万t/年	・2009年7月、生産開始をアナウンス
Worsley 精錬所拡張 (86%、WA州)	アルミナ	1,900	2011年 H1	アルミナ 110万t/年	・計画及び予算は計画どおり。 ・エンジニアリングは75%完了。 ・建設を開始。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA州)	鉄鉱石	1,850	2010年 H1	鉄鉱石 26m t/年 追加	・計画及び予算は計画どおり。 ・エンジニアリングは99%完了。 ・建設作業は、90%以上完了。
Rapid Growth 5 (RGP4) (85%、WA州)	鉄鉱石	4,800	2011年 H2	鉄鉱石 50m t/年 追加	・計画及び予算は計画どおり。 ・エンジニアリングは70%完了。 ・資材調達は順調。
Gemco プロジェクト (60%、北部準州)	マンガン	110	2009年 H1	マンガン精鉱 1m t/年追加	・計画前倒し、予算は計画どおりで、出鉱 開始。

\*1) 権益相当分 \*2) 100%ベース 注) m: 百万

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2009, 22 July 2009

#### (5) 探査

- ・直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2009年Q2までの3か月間のBHP Billitonの探鉱支出額(石油は除く)は191m US\$であった。

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2009, 22 July 2009

#### (6) その他

- ・2009年6月5日、BHP BillitonとRio Tintoは、両社がWA州に所有する鉄鉱石資産に係る共同生産事業を立ち上げるため、拘束力のない協定書に署名した。当該合併事業は、現在及び将来におけるWA州での鉄鉱石に係る資産及び負債の全てを包含するもので、合併事業は両社が50:50の割合で所有することとなり、両社の負担を均等にするため、BHP BillitonはRio Tintoに対して58億US\$を支払う。

## 2. Anglo American

- ・銅、亜鉛、ニッケルの生産量は、前年同期比でそれぞれ 3.0%増、1.3%減、12.0%増
- ・プラチナ、パラジウム、ロジウムの生産量は、前年同期比でそれぞれ 14.0%増、20.2%増、51.7%増

### (1) トピックス

- ・2009 年末までにグループ全体で 19 千人の人員削減を計画しており、既に 15 千人を削減した。
- ・2009 年 H1 の白金部門の営業利益は、白金族の生産量、販売量共に増加したものの、白金族の著しい価格下落及び南アランド安の影響を受けて、8mUS\$と前年同期比 99%減となった。
- ・2009 年 5 月末に Loma de Níquel 鉱山の第 2 電気溶鉱炉が溶鉱漏れ(metal run-out)による故障のため閉鎖した。操業再開は 2010 年 H1 の修繕後になる見込み。

### (2) 財務状況

(単位 : mUS\$)

	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	32,964	17,915	15,049	11,132	11,132	
当期利益	5,215	4,281	934	2,970	2,970	
売上高利益率 (%)	15.82%	23.90%	6.21%	26.68%	26.68%	
探鉱費	212	98	114	70	70	

### (3) 生産状況

主要鉱産物の生産状況

(純分)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (t)	641,300	159,000	161,000	148,600	172,700	316,900	151,000	165,900		
ニッケル鉱石(t)	20,000	4,600	5,000	5,600	4,800	10,100	4,500	5,600		
亜鉛鉱石(t)	340,500	82,000	88,200	86,500	83,800	180,000	82,800	87,100		
鉛鉱石(t)	62,900	17,100	14,700	16,700	14,400	31,000	14,600	16,400		
金(t)	2.4	0.7	0.4	1.3		-	-	-		
金(oz)	78,500	23,700	14,100	40,700		-	-	-		
白金(t)	74.2	13.3	17.8	16.9	26.2	32.9	12.6	20.3		
白金(oz)	2,386,600	428,600	572,500	543,200	842,300	1,056,400	404,000	652,400		
パラジウム(t)	41.0	7.6	9.4	10.0	14.0	18.6	7.3	11.3		
パラジウム(oz)	1,318,800	245,800	300,800	321,700	450,500	596,700	235,100	361,600		
ロジウム(t)	9.3	1.8	1.8	2.3	3.3	5.1	2.3	2.8		
ロジウム(oz)	299,300	57,500	59,400	75,300	107,100	163,900	73,800	90,100		

### (4) その他

- ・特になし

### 3. Rio Tinto

- ・ Kennecott Utah 銅鉱山、Grasberg 鉱山における銅品位が回復したが、Escondida 鉱山における銅品位の低下及び操業面での問題が継続したことにより、総合的に銅鉱石生産量は前年同期比 1%減の 208kt となった。

#### (1) トピックス

- ・ Kennecott Utah 銅鉱山の操業面の改善と銅精鉱の品位が改善、及び Escondida 鉱山におけるカソードの生産が増加したことにより、銅地金の生産が、前年同期比 23%増となった。
- ・ Escondida 鉱山の選鉱所において、SAGmill 発動機の問題を修復するため 2009 年 7 月と 8 月に 45 日間の操業停止が計画されている。
- ・ ウランの生産量は、前年同期と比較して 16%増の 3,641k lbs となった。これは、主力の Energy Resources of Austraria による生産が鉱石品位の上昇、プラントの稼働率の改善及びラテライト鉱石用の精製プラントの操業開始により前年同期比 33%増となったためである。
- ・ 2009 年 6 月、同社と BHPBilliton は、拘束力を持たない形で西豪州鉄鉱石の生産合併会社の設立について同意した。

#### (2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	H1		H2		年計	H1		H2	
売上高	58,065	30,005		28,060		19,523	19,523			
当期利益	3,676	6,951		-3,275		2,451	2,451			
売上高利益率	6.33%	23.17%		-11.67%		12.55%	12.55%			
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
探鉱費	1,135	159	242	260	474	127	127	115		

#### (3) 生産状況

##### ① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt 純分)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石	698.5	181.1	210.2	160.0	149.1	404.2	196.0	208.2		
銅地金	321.6	78.3	82.8	68.9	91.6	206.3	104.3	102.0		
モリブデン鉱石	10.6	3.4	2.2	2.9	2.0	4.5	2.0	2.5		

②主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：kt 純分)

鉱山名、製錬所名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Bingham Canyon (銅鉱石)	238.0	44.7	60.2	69.3	63.8	160.9	74.7	86.2		
Escondida (銅鉱石)	384.5	117.2	128.1	73.2	66.0	154.3	78.1	76.2		
Grasberg (銅鉱石)	7.1	1.8	1.8	1.8	1.7	50.1	24.8	25.3		
Northparks (銅鉱石)	19.8	4.1	4.4	5.2	6.1	14.0	6.6	7.4		
Palabora (銅鉱石)	49.1	12.8	15.1	9.9	11.4	24.9	11.8	13.1		
Kennecott Utah Copper (SxEw 銅カソード)	200.6	52.1	49.3	40.6	58.6	133.7	68.6	65.1		
Escondida (SxEw 銅カソード)	77.3	15.7	21.0	18.6	21.9	49.2	23.5	25.7		
Palabora (SxEw 銅カソード)	43.8	10.5	12.4	9.8	11.0	23.4	12.1	11.3		

(4) その他

- ・ 2009年2月初旬に合意したChinalcoとの資本提携は、2009年6月に、金融市場の好転によりChinalcoとの提携価値が薄れたことから、総額19.5bUS\$の提携合意を破棄、Chinalcoに対し195mUS\$の違約金を支払った。

## 4. Vale S. A.

- ・2009年5月22日の臨時株主総会で Companhia Vale do Rio Doce (CVRD) から Vale S. A. への名称変更が承認された。
- ・2009年Q2の売上高は前年同期比53.3%減の5,084mUS\$、純利益は前年同期比84.2%減の790mUS\$となり、売上高、純利益とも大幅な減少となった。
- ・2009年H1の中国向け鉄鉱石輸出は対前年同期比42.1%増であったが、中国製鉄企業が国内の高コストの鉄鉱石から外国産鉄鉱石に切り換えたことによる他、Valeの鉄鉱石値決めに係る柔軟な対応、大型運搬船使用による船賃の削減等によるものである。
- ・2009年Q2の投資額(買収除く)は20.80億US\$で前期の17.14億US\$から21.4%増であったが、対前年同期23.12億US\$との比較では、10.0%減

### (1) トピックス

#### 【鉄鉱石、ペレット】

- ・2009年Q2の中国向け鉄鉱石出荷は、2009年Q1に記録した過去最高の34.6百万tを超え、35.6百万tで全出荷量の66.2%となり、過去最高に達した。
- ・鉄鉱石売上高は24.23億US\$で前期比22.9%減少し、平均鉱石価格は62.79US\$/tから47.82US\$/tへ23.8%下落した。
- ・ペレット売上高は176百万US\$で前期の269百万US\$から34.6%減少し、平均ペレット価格は118.45US\$/tから55.82US\$/tまで52.9%下落した

#### 【マンガン】

- ・マンガン鉱石販売量は製鉄企業の需要回復を受け、生産調整に伴う前期の60千tから395%増の297千tを達成。
- ・マンガン鉱石売上高は43百万US\$で前期の15百万US\$の約3倍であったが、平均鉱石価格は前期の実質価格から42.1%減の144.78US\$/tへ下落した。

#### 【アルミナ】

- ・高コストである Valesul のアルミナプラントについて、2008年10月から生産能力95千t/年のうち、自家発電で操業を維持できるレベルの40%まで稼働率を低下させていたが、2009年4月1日に操業を停止させた。

#### 【ニッケル】

- ・ニッケル価格上昇及び出荷量拡大に伴い、ニッケル売上高は前期の639百万US\$から916百万US\$へ277百万US\$(43.3%)増大した。

#### 【投資】

##### (鉄鉱石関連)

- ・7月22日に ThyssenKrupp Steel との間で Vale が保有する ThyssenKrupp CSA の権益を10%から26.9%(965百万€)に拡大させる MOU に署名した。  
ThyssenKrupp CSAは、2010年H1の生産開始を目標にRio de JaneiroのSepetiba Bayでスラブ生産





(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

(単位：k t)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
鉄鉱石	293,374	72,712	76,196	83,252	61,214	104,410	46,754	57,656		
ペレット	34,252	8,699	8,714	9,514	7,324	4,436	1,736	2,700		
マンガン鉱石	2,383	541	658	694	491	663	113	550		
フェロアロイ	475	132	128	130	84	75	48	27		
アルミナ	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	2,918	1,482	1,436		
アルミニウム	543	132	136	140	135	234	121	113		
銅	312	73	76	80	82	134	73	61		
カリウム	607	166	167	172	102	345	186	159		
カオリン	1,129	297	288	314	231	332	138	194		
ニッケル	275	61	69	72	73	124	65	59		
コバルト(t)	2,828	615	671	750	792	1,345	713	632		
プラチニウム(k oz)	166	36	43	44	43	86	39	47		
パラジウム(k oz)	231	48	54	66	62	121	53	68		
金(k oz)	85	22	19	24	21	43	24	19		

2) 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位：k t)

鉱山名・製錬所名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Carajas(鉄鉱石)	96,495	24,199	23,239	26,751	22,306	40,757	20,277	20,480		
Azul(マンガン鉱石)	2,003	504	546	561	392	491	43	448		
Alunorte(アルミナ)	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	2,918	1,482	1,436		
Albras(アルミニウム)	455	112	113	115	115	225	112	113		
Sossego(銅)	126	30	30	33	33	59	30	29		
Sudbury(銅)	115	28	29	31	28	39	25	14		
Sudbury(ニッケル)	85	18	20	18	29	37	22	15		
Voisey's Bay(ニッケル)	78	18	18	22	19	33	17	16		
Indonesia(ニッケル)	68	15	19	19	15	34	16	18		

## 5. Xstrata

- ・ 2008 年 H1 は、銅、ニッケル鉱石、亜鉛の生産は増加。他方、フェロクロムなどは生産設備の停止により大幅減産。
- ・ Xstrata は、2009 年 6 月、Anglo America (本社 : London) に対して株式交換による対等合併を提案。

### 1. 最近のトピックス

- ・ 2008 年 H1 の生産は、石炭(一般炭)、銅、ニッケル鉱石、亜鉛の生産は昨年度同期より増加。
- ・ 特に銅については、豪州 Mount Isa、アルゼンチン Alumbreira、チリ Collahuasi、ペルー Tintaya や Lomas Bayas 及びカナダ Kidd からの生産が堅調で、豪州 Ernest Henry とペルー Antamina からの減産を補った。
- ・ また、ニッケルについては、カナダ Raglan と豪州 Xstrata Nickel Australasia からの高い生産と、南アフリカ Nickel Rim South の当初からの高品位の生産により、カナダ Sudbury のコスト高の炭鉱の休止、Mount Calm の延期等を補完。ドミニカ Falconbridge のフェロニッケルは、H1 は補修を継続。
- ・ 亜鉛については、豪州 Mount Isa 及び McArthur River 地域からの増産に加え、新たにカナダ Perseverance からの生産により、昨年同期と比較して 30% の亜鉛精鉱の増産を達成。
- ・ フェロクロムについては、一時的な生産停止により昨年同期の 60% 以下に減産。
- ・ 2008 年 H1 の EBITDA は 28.2 億\$ に落ち込んだが、これは主に金属価格の下落によるもの(昨年度同期 56.8 億\$)。コスト削減は全体の操業コストの 1.1% に当たる 1.2 億\$。H1 には、資本の節約、コストカット、リストラにより 16 億\$ のキャッシュフローが生み出された。
- ・ 株主割当増資により借入金のうち 37 億\$ が返済され、借入金比率は昨年末の 40% から 28% にまで低下。
- ・ 現在、6 つの生産プロジェクトを準備中だが、このうち南アフリカの Goedgevonden 炭鉱(一般炭)及びカナダの Nickel Rim South 鉱山が 2010 年にはフル稼働予定。
- ・ ニッケル及び亜鉛の事業の再構築とコスト削減プログラムの加速化は H1 に無事に実施済み。
- ・ 6 月、英国 Anglo America 社に対して対等合併を提案中。

### 2. 財務状況

(単位: 百万 US\$)

区分	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	27,952	16,092	11,860	9,869	9,869	
営業利益(EBIT)	9,645	5,687	3,958	2,815	2,815	
当期損益(Attributable Profit)	4,698	2,829	1,869	909	909	
売上高利益率	16.8%	17.6%	15.8%	9.2%	9.2%	
資本支出(探鉱費含む)(Capital Expenditure)	5,123	2,164	2,959	1,602	1,602	
銅部門	1,115	434	681	377	377	
ニッケル部門	1,912	771	1,141	474	474	
亜鉛部門	655	305	350	80	80	
その他	1,441	654	787	671	671	

(注) 2006 年のデータは、同年中の買収案件 (Falconbridge 社他 2 件) を年計分に換算した、Xstrata 発表による Pro Forma ベースを記載。また、当期純損益 (Attributable Profit) は、自社株式分を除いたもの。

### 3. 生産状況

#### 1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Xstrata Copper										
銅鉱石(精鉱 t)	952,426	219,978	224,291	234,615	273,542	447,509	217,092	230,417		
金(oz)	687,212	177,172	154,516	141,478	214,046	294,859	144,746	150,113		
Xstrata Nickel										
ニッケル鉱(精鉱 t)	54,523	11,785	14,825	13,620	14,293	28,505	15,203	13,302		
フェロニッケル(t)	18,782	6,866	7,529	4,387	0	-	-	-		
銅鉱(精鉱 t)	27,703	6,789	8,426	6,935	5,553	11,870	7,403	4,467		
コバルト(t)	1,341	315	368	323	335	765	398	367		
Xstrata Zinc										
亜鉛鉱(精鉱 t)	861,033	182,702	198,076	241,881	238,374	493,808	221,729	272,079		
亜鉛地金(t)	795,565	205,682	206,261	208,818	174,804	401,253	190,310	210,943		
鉛鉱石(精鉱 t)	251,496	64,572	63,181	64,392	59,351	110,086	49,824	20,262		
鉛地金(t)	220,391	57,374	56,098	46,273	60,646	121,816	61,267	60,549		
Xstrata Alloys										
フェロクロム(k t)	1,126	305	310	308	203	244	73	171		
五酸化バナジウム(k lb)	16,604	4,520	2,407	4,803	4,874	7,039	3,540	3,499		
フェロバナジウム(k kg)	3,622	1,057	471	1,026	1,068	1,313	731	582		

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む

#### 2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2008年			2009年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
銅 (k t)						
Alumbraera(アルゼンチン)精鉱(50%)	157	66	91	76	76	
Mount Isa (豪)精鉱	152	71	81	82	82	
Kidd Creek(カナダ)精鉱	43	19	24	22	22	
Collahuasi(チリ)精鉱(44%)	415	199	216	226	226	
Antamina(ペルー)精鉱(33.75%)	344	169	175	160	160	
Tintaya(ペルー)精鉱	84	33	51	34	34	
Townsville(豪)地金	267	199	68	131	131	
CCR(カナダ)地金	345	180	165	139	139	
亜鉛 (k t)						
Mount Isa(豪)精鉱	283	129	154	154	154	
McArthur River(豪)精鉱	142	67	75	69	69	
Brunswick(カナダ)精鉱	222	108	114	122	122	
San Juan de Nieva (スペイン)地金	450	223	227	243	243	
Kidd Creek(カナダ)地金	121	74	47	56	56	
鉛 (k t)						
Mount Isa (豪)精鉱	140	74	66	59	59	
McArthur River(豪)精鉱	37	18	19	16	16	
Brunswick(カナダ)精鉱	56	26	30	27	27	
Brunswick(カナダ)地金	81	42	39	46	46	
Northfleet (英)地金	139	71	68	76	76	
ニッケル (k t)						
Sudbury(カナダ)Ni-Cu matte*	65	30	35	31	31	
Raglan(カナダ)精鉱	26	12	14	15	15	
Falcondo(ドミニカ)FeNi(85.3%)	19	14	5	0	0	
Nikkelverk(ノルウェー)地金	89	44	45	42	42	

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む

\*マット中のNi量(2008年Q2から公表方式変更)

#### 4. その他

- ・Xstrata は、2009 年 6 月、英国 Anglo America に対して株式交換による対等合併を持ちかけたが、Angro America としては戦略的なメリットに乏しく拒否するとのコメントを発表。
- ・Xstrata としては、メジャー資源企業として BHP Billiton や RioTinto などに対抗するためには、両社の合併は所有するプロジェクトの鉱種、地域などから相乗効果が極めて高く、両社の株主にとって利益をもたらすものと言及し、交渉継続中の立場。

## 6. Glencore Q2 (2009年4月～6月)

・2009年のQ2の主なトピックスとしては、ペルーIscaycruzの閉山、買鉱契約を締結したLargo Resources社のブラジルでのバナジウム開発が承認を受けたこと、Credit Suisseとの共同商品相場指数を創設などがある。

### ○2008年財務報告

Glencoreの2008年の純利益は前年の52億US\$から48億US\$へと8.5%減少した。銅、アルミニウム、その他のメタル、石油、石炭などの価格低迷のため、資産価値の減損処理、前受け代金の払い戻し、在庫評価損などで37億US\$の特別損失を計上した。売上高は1,423億US\$から1,522億US\$に上昇した。

(1) M&A、業務提携  
特になし

### (2) 探査開発

① ブラジル：Bahia州政府がLargo Resources社のバナジウム・PGM開発を承認

Largo Resources社（本社：加Toronto）が、Bahia州で手掛けるMaracasバナジウム・PGMプロジェクトを同州政府環境委員会がEIA等を承認した。今後は、資金調達をする予定であるが、V<sub>2</sub>O<sub>5</sub>価格の下落により困難となっている状況。

本鉱床は、Bahia州都Salvador南西約250kmに位置し、埋蔵量13.1百万t及び品位1.34%（V<sub>2</sub>O<sub>5</sub>換算）、2010年Q4から4,500t/年（FeV換算）の生産規模で操業開始を予定（操業期間23年）。Glencoreは買鉱契約により、バナジウム生産物の全量を引き取ることとなっている。（2009年5月）

② ペルーSantander銀・鉛・亜鉛プロジェクト開発につきTrevali Resourcesと合意

GlencoreはTrevali ResourcesとペルーSantander銀・鉛・亜鉛プロジェクトの開発につき、MOUを締結した。同プロジェクトは資源量5.3百万tで平均品位Zn 3.34%、Pb 1.27%、Ag 38g/tと見積もられている。（2009年5月）

### (3) 操業

① ザンビアMopani鉱山会社を巡る動き

Equinox Mineralsが保有するLumwana銅山（資源量：銅量ベースで6.3百万t、年産規模：銅169千t）は2008年12月より生産を開始した。その精鉱生産量の約28%については、今後5年間、Mopani Copper Mines（権益：Glencoreが73.1%、First Quantumが16.9%、ZCCMが10%を保有）が操業するMufulira製錬所が引取る契約となっているが、2009年1月に精鉱の品質が契約条件を満たしていない（具体的には国際原子力機関（IAEA）の基準を超えるウランが鉱石に含有されていることを理由）として、引取りを拒否した。

Equinox社は結局、3月中旬にLumwana鉱山産の銅粗鉱を、新規のChambishi銅製錬所（中国のNonferrous Metal MiningとYunnan Copper Industry GroupのJV事業）へ出荷し始めた。なお、Equinox

社の広報関係者は、Chambishi 製錬所への出荷量についてはコメントを控えている。(2009 年 4 月)

## ②ペルー、Iscaycruz 亜鉛鉱山操業を停止

Glencore は、同社最大の Iscaycruz 亜鉛・鉛鉱山 (Lima 県) を、価格低迷を理由に操業停止したことを発表した。現在銀を生産する Yauliyacu 鉱山 (Lima 県) のみが操業している状況となっている。同社は、2008 年 3 月から亜鉛価格は 40%下落し操業継続は採算に合わず不可能で、採算性の高いプロジェクトを目標に現在探鉱に注力していることを明らかにした。Iscaycruz 鉱山の 2008 年生産量は亜鉛 175kt、鉛 14kt であり、ペルーにおける Glencore の鉱石生産の半分以上を担っていた。同社の亜鉛鉱石生産の 15%を占めていた Rosaura 鉱山も 2008 年 12 月から操業停止状態で同社は、既にペルー国内人員の 15~20%削減計画を発表していた。(2009 年 4 月)

## (4) その他

### ①米 Ormet へのアルミナ供給の不可抗力宣言

Glencore は Ormet へのアルミナ供給がフォースマジュールになったことを宣言した。これに関し、Ormet は Ohio 州の Hannibal アルミ製錬所の閉鎖を余儀なくされるだろうとの見解を示し、Glencore は不利なアルミ委託製錬契約を破棄するために故意にやったことと非難した。Glencore と Ormet は 2008 年 5 月にその当時の LME 価格 (3,000US\$/t の水準) に基づいたアルミ委託精錬契約を締結したため、アルミ価格が 1,500US\$/t の水準に下落した 2009 年 4 月の時点では Glencore 側に損失が出ていた。(2009 年 4 月)

### ②韓国政府のニッケル調達入札を落札

2009 年 5 月に入札の結果、Glencore が韓国の公共調達局へ一次ニッケル製品 300t を売却することが決まった。応札者は全 5 社で、Glencore の提示した 535US\$/t より安い LME 価格に対するプレミア (385US\$/t) を提示した社もあったが、韓国とスイスの自由貿易協定により Glencore が販売する Falconbridge 製の一次ニッケル製品に対して 3%の輸入税 (400US\$/t に相当) が免税対象となるため、Glencore が落札した。(2009 年 5 月)

### ③Credit Suisse と共同で商品相場指数を創設

Credit Suisse は Glencore と共同で投資家向け商品相場指数を創設したことを発表した。これは、銅、石油、石炭、砂糖など 20 品目を対象として、Glencore のトレーダーが各商品相場の見通しを毎月、5 段階評価するもの。Glencore が自らの相場観を公表するのは初めてのことで。(2009 年 6 月)

### ④Doe Run Peru 社の La Oroya 製錬所の融資による救済に参加

資金不足により操業停止の状態に陥っていた Doe Run Peru 社の La Oroya 製錬所に対する救済措置に関して、政府による救済ではなく、La Oroya 製錬所を利用する鉱山 15 社による融資が行われることが明らかになった。15 社のうちに Buenaventura、Volcan とともに Glencore も含まれている。融資の総額は 175 百万 US\$であり、このうち 100 百万 US\$は精鉱の提供によって実施され、75 百万 US\$は銀行からの融資をこれら企業が債務保証する。(2009 年 4 月)

## 7. CODELCO

- ・ 2009 年 Q2 の El Abra 鉱山を除く CODELCO 売上高は、前年同期比 26.4%減の 19.2 億 US\$、純利益は 1.6 億 US\$となった。
- ・ 2009 年 Q2 の銅生産量(El Abra 含む)は、前年同期比 22.9%増の 430k t となった。
- ・ 2009 年 H1 のキャッシュコストは前年同期の 60.1¢/lb から 62%上昇し 97.2¢/lb となった。

### (1) トピックス

#### [主要プロジェクトの開発・操業状況]

- ・ チリ第VI州 El Teniente 鉱山の新規レベル開発、第V州 Andina 鉱山の Phase II 拡張計画(PDA II)のFS開始が正式に承認された。
- ・ チリ第II州 Radomiro Tomic 鉱山で新たに硫化銅 600 万 t；銅品位 0.4%を確認。これにより RST II 拡張計画に選鉱設備を追加し、投資額も見直される見込み。
- ・ チリ第II州 Chuquibambilla 鉱山で坑内採掘準備のためのボーリングを 83.6 百万 US\$で実施。プレFSが終了。

#### ・ 現在進行中の鉱山拡張プロジェクト

鉱山/プロジェクト	投資額 百万 US\$	概要	年間生産 規模 Cu 千 t	操業開始	進捗率 %
El Teniente 鉱山/ Pilar Norte	121	・ 新規鉱体開発 埋蔵量：37.6 百万 t 品位：Cu 1.32%、Mo 0.032%	55.0	2010Q1	72
Andina 鉱山/ PDA I (Plan de Desarrollo Andina I)	937	・ 露天掘ピット及び新規選鉱処理系統建設(破碎、磨鉱、浮選設備) ・ 粗鉱処理：72 千 t/日→94.5 千 t/日	30.0	2010Q1	69
Radomiro Tomic 鉱山/ RTS I (Radomiro Tomic Sulfide Phase I)	370	・ ピット周辺に 110×60inchのジャイロトリー・クラッシャー設置 ・ Chuquibambillaまで全長の破碎鉱石運搬用ベルトコンベア敷設 (8.1km：鉱石運搬量 100 千 t/日) ・ Chuquibambilla鉱山での貯鉱場及び配鉱設備建設	160.0	2010Q2	71

#### [企業、鉱山、開発権益等の買収売却、アライアンス情報]

- ・ エクアドル政府と同国の中央南部地域における 4 年間の探鉱契約を締結。また、チリ国内で Rio Tinto 社、Punta del Cobre 社と共同探鉱していくことで合意した。

#### [インフラ、技術開発等]

- ・ チリ第II州 Mejillonesにて建設中のLNGプラント(Phase 1)\*工事進捗率 80%。
- ・ チリ第VI州 El Teniente 鉱山の発電プロジェクト増強についての EIA を Conama に提出。投資額 81 百万 US\$で、送電線 10 km 敷設、Minero 変電所の拡張、Sewell 変電所の建設、配電、Scada 指令システ



ムの拡張を含む。

- ・ CODELCO と日鉱金属の合併会社 BioSigma 社が特許申請していた”Wenelen” と呼ばれるバクテリアについて、チリ知的財産協会 INAPI が承認した。これは、低品位銅鉱石からのバクテリア・リーチングに関するチリ初の知的所有権となる。

※Mejillones LNG プラント (Phase 1)

実施主体 : GNL Mejillones SA (CODELCO 50%、Suez Energy International 50%)

概要 : 棧橋 1 本、LNG 再気化プラント (5.5 百万 m<sup>3</sup>/日 : 1,100MW 発電規模相当)

予算 : 500 百万 US\$

建設完了 : 2010 年 Q1 予定

発電用ガス供給先 : Codelco Norte Escondida, Collahuasi, El Abra (450MW 相当)  
(2010 年から 3 年)

(2) 財務状況

(mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	8,742	2,865	2,612	1,765	1,500	3,262	1,339	1,923		
当期利益	1,567	665	724	206	(28)	153	(10)	163		
売上高利益率(%)	17.9	23.2	27.7	11.6	(1.8)	4.7	(0.7)	8.4		

売上高、当期利益は El Abra 鉱山を除く

(3) 生産状況

①主要鉱産物の生産状況

(単位 : k t)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱(k t)	1,548	366	350	392	440	822	392	430		
モリブデン鉱(k t)	21	7.0	3.0	5.0	6.0	10	5.0	5.0		

②主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位 : k t)

鉱山名・製錬所名	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
CODELCO Norte (100%)	755	184	197	171	203	391	176	215		
Salvador (100%)	43	14	11	11	7	30	15	15		
Andina (100%)	220	56	47	56	61	106	55	51		
El Teniente (100%)	381	93	74	104	110	186	88	98		
El Abra (49%)	81	19	21	21	20	39	19	20		
Gabriela Mistral (100%)	68	-	-	29	39	70	39	31		
キャッシュコスト(¢/lb)		41.4	60.1	63.2	70.2		95.2	97.2		

生産量は銅金属純分

Q2 以降のキャッシュコストは累積平均

El Abra 鉱山の生産量は CODELCO シェア分

## 8. Freeport-McMoRan Copper & Gold (FCX)

- ・Grasberg 銅・金山での金増産、金属価格の上昇、コスト削減等の効果で純利益 588 百万 US\$を確保。対 Q1 比 545 百万 US\$、1,267%増。
- ・探鉱開発事業の凍結継続。
- ・Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山の銅カソードを出荷。

### (1) トピックス

#### ① 開発

- ・北米事業：モリブデン価格低迷により米 Colorado 州 Leadville の Climax 鉱山再開工事を中断中。
- ・南米事業：銅価格低迷により El Abra 銅山(チリ)の大規模硫化鉱床開発を中断中。
- ・インドネシア事業：Grasberg 銅・金山では、計画どおりの採掘品位上昇に加え、高品位部の前倒採掘を実施。Q2 金生産量は 24t となり、対 Q1 比 6t、33%の増となった。
- ・アフリカ事業：DRC コンゴ・Katanga 州の Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山で 3 月下旬から SXEW による銅カソードの生産を開始。Q2 には 16kt を生産し、12kt を販売した。コバルト生産も Q2 から開始しており、H2 には年産銅 250m lb(113kt)、コバルト 18m lb(8kt)の体制で操業する。また、DRC コンゴ政府による契約見直しについて協議中。

#### ② 探鉱

2008 年に行った既存鉱山周辺探鉱で得たデータ解析を中心に実施。2009 年投資額は 0.75 億 US\$を計画(2008 年実績は 2.48 億 US\$)。

### (2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 (Revenues)	17,796	5,672	5,441	4,616	2,067	6,286	2,602	3,684		
営業利益 (Operating income)	-12,710	2,396	2,053	1,133	-18,292	2,180	672	1,508		
純利益 (Net income applicable to common stock)	-11,341	1,122	947	523	-13,933	631	43	588		
売上高利益率	—	19.8%	17.4%	11.3%	—	10.0%	1.7%	16.0%		
探鉱費(Exploration and research expense)	292	52	80	77	83	54	30	24		

## (3) 主要鉱産物の生産状況

鉱種	鉱山	2008年					2009年				
		年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (kt: 金属 純分)	Morenci(85%)*	284	66	70	74	73	98	51	47		
	Bagdad	103	24	24	27	28	50	25	25		
	Sierrita	85	19	22	21	24	39	19	20		
	Chino	70	20	21	16	13	9	4	5		
	Tyrone	34	7	7	10	11	20	10	10		
	Miami	9	2	2	2	2	4	2	2		
	Tohono	1	0	0	0	0	0	0	0		
	Safford	60	10	11	20	20	37	21	16		
	その他	2	1	0	0	0	0	0	0		
	北米計	649	148	159	170	172	254	131	123		
	Cerro Verde(53.56%)	315	75	81	79	79	153	76	77		
	Candelaria/Ojos del Salado(80%)	202	45	44	58	55	88	44	44		
	El Abra(51%)	166	39	42	42	43	80	39	41		
	南米計	683	160	167	179	177	320	158	162		
	Grasberg(90.64%)*	496	91	101	116	189	366	183	183		
	Tenke Fungurume(57.75%)	0	0	0	0	0	16	0	16		
	中計	1,828	399	427	464	538	957	472	485		
	他社権益分	-314	-72	-77	-80	-86	-169	-80	-89		
合計	1,514	327	350	385	451	788	392	396			
金 (t)	北米	0	0	0	0	0	0	0	0		
	南米(80%)	4	1	1	1	1	2	1	1		
	インドネシア(Grasberg:90.64%)*	36	8	7	8	13	42	18	24		
	小計	40	9	8	9	15	44	19	25		
	他社権益分	-4	-1	-1	-1	-2	-4	-2	-2		
合計	36	8	7	8	13	40	17	23			
モリブ デン (kt: 金属 純分)	Henderson	18	4	5	6	3	6	3	3		
	北米(副産物)*	14	4	3	3	4	6	3	3		
	Cerro Verde(53.56%)(副産物)	1	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	33	8	8	10	7	12	6	6		

\* JV相手の権益分を除いた生産量である

## 9. Kazakhmys

- ・2009年H1は、銅市場の不安定な中で、収益性の低い鉱山からの生産停止、亜鉛製錬所の停止、他社からの鉱石購入停止などの措置を継続しつつ、市場状況を勘案して金、銀等の生産量を維持するために鉱石の備蓄を取り崩した。
- ・2009年H1の生産は、銅精鉱は前年同期比4.0%減、銅カソードは同0.3%減、銅ロッドは80.1%減となった。また、副産物については、亜鉛精鉱は前年同期比15.1%増、銀は同9.8%増、金は同8.1%増となった。
- ・その結果、売上は前年同期比41.9%減の1,628百万US\$となったが、EBITDAは31.7%減の717百万US\$となり、負債額は、2008年末の1,628百万US\$から1,568百万US\$へと削減された。

### 1. 最近のトピックス

- ・2009年H1は、銅市場の不安定な中で、収益性の低い鉱山からの生産停止、亜鉛製錬所の停止などの措置を継続するなど、低コストで生産効率を上げる経営方針を実現した。そのため、売上は前年同期比41.9%減の1,628百万US\$となったが、EBITDAは31.7%減の717百万US\$となり、負債額は、2008年末の1,628百万US\$から1,568百万US\$へと削減された。
- ・銅鉱石の生産は、Q2では前期比6.3%増の8,253千t、H1では前年同期比8.4%減の16,013千tとなった。これは、銅市場の低迷から、所有する20鉱山のうち、2008年末に高コストの4鉱山(Balkhash complex : Kounrad、East地域 : Belousovsky、Karaganda地域 : Nurkazgan North、Akbastau)の生産停止の影響を、South鉱山の生産回復及びNurkazgan West鉱山の新規地下鉱床からの生産開始(2009年2月)及び既存鉱山からの増産が一部相殺したものである。一方で、備蓄及び精製過程中の鉱石量は減少した。
- ・2009年H1の銅の品位は、前年同期1.22%から1.19%へ若干低下したが、Q2では1.23%と前期の1.20%から若干改善した。これは、高品位であるAkbastau鉱山の輸送コスト高に伴う生産停止が主な理由であるが、Zhomart鉱山の品位の改善、低品位のKounrad鉱山の生産停止などが品位低下の防止に寄与している。なお、現在の採掘計画では、H2についても更なる若干の品位の低下が見込まれている。
- ・銅精鉱の生産は、鉱石の減産にもかかわらず、備蓄の活用及び回収率の向上により、Q2は前期比4.1%増の91.0千t、H1の自社精鉱分は前年同期比4.7%増の178.4千tとなったが、全体では他社からの購入をやめたことから4.0%減となった。
- ・銅カソードの生産は、Q2は自社精鉱の増加に伴い前期比3.0%増の88.2千tとなった。これは前年同期比では他社からの購入分の減少から2.2%減となる。H1で見ると、自社精鉱分は前年同期比8.3%増の170.1千tとなるが、他社からの購入分の減により前年同期比0.3%減の173.8千tとなった。なお、銅カソードの一部は精鉱の状態に中国に輸出されている。
- ・銅ロッド生産は、Q2は国内需要の増加から前期比24.8%増の2.6千tとなっているが、昨年同期比で見るとQ2では74.5%減、H1では80.1%減となっている。これは昨年は中国からの需要対応で銅ロッドの生産が増えていたが、今年から国内需要対応のみとしているためである。
- ・亜鉛精鋼の生産は、H1では15.1%増の76.4千tとなった。これはAkbastau鉱山及びAbyz鉱山の生産停止に対応するため、他社からの購入、備蓄の活用、回収率の改善が寄与したことによる。また、

Q2 では前期比 8.0%減の 36.6 千 t となったが、これは East 地域の鉱石の品位の低下が原因である。  
 なお、亜鉛の製錬所は 2009 年 3 月から生産を一時停止している。

- ・銀の生産は、Q2 では前期比 6.1%増、前年同期比 9.3%増の 4,789 千 oz (149t)、H1 では前年同期比 9.8%増の 9,145 千 oz (284.4t) となった。これは鉱石中の銀の含有量が減少したものの、精製過程  
 中の鉱石からの生産が寄与した。
- ・金の生産については、Q2 では前期比 34.1%増、前年同期比 23.9%増の 38.9 千 oz (1.2t)、H1 では前  
 年同期比 8.1%増の 67.9 千 oz (2.1t) となった。これには金含有量の多い Abyz 鉱山からの鉱石備蓄の  
 取り崩し、2009 年 5 月に精錬所の新規設備導入に伴う回収率の向上が寄与している。このため、Abyz、  
 Kosmurun、Akbastau の各鉱山の生産停止の影響は出なかった。Abyz 鉱山は鉱石の備蓄が減少したこ  
 とから Q3 から採鉱を再開する予定である。
- ・2008 年 2 月に買収した Ekibastuz 発電所の発電量は、Q2 は需要の改善から前期比 11%増加したも  
 の、H1 では年初以来の経済低迷の影響から前年同期比 32%の減少となった。

## 2. 財務状況(四半期ごとのデータ更新なし)

(単位 : m US\$)

	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	5,151	2,388	2,763	1,618	1,618	
税引前利益 (EBITDA)	2,056	1,050	1,006	717	717	
当期損益 (Profit for the Period)	910	610	300	269	269	
売上高利益率	17.7	25.5	10.9	16.6	16.6	
資本支出(探鉱費含む) (Capital Expenditure)	701	373	328	202	202	

注) H2 は、通年データ及び H1 データとの差分。

## 3. 生産状況(主要鉱産物生産状況)

鉱産物	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅精鉱(k t)	399.8	86.0	99.8	105.7	108.6	178.4	87.4	91.0		
銅カソード(k t)	378.1	84.1	90.2	98.3	105.5	173.8	85.6	88.2		
銅ロッド(k t)	48.3	13.4	4.6	9.1	15.6	4.7	2.1	2.6		
亜鉛精鉱(k t)	137.3	33.6	37.6	38.2	32.8	76.4	39.8	36.6		
亜鉛地金(k t)	47.5	12.4	15.0	10.6	12.3	8.6	8.6	0.0		
金(k oz)	123.5	31.4	31.4	29.4	31.4	67.9	29.0	38.9		
銀(k oz)	16,710	4,020	4,309	3,794	4,587	9,145	4,437	4,708		

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) Q2 及び Q4 生産量は、それぞれ半期データと前半期データとの差分

## 4. その他

- ・ 特になし。

## 10. Teck Resources

- ・ 2009 年 Q2 の純利益は 570mC\$、減価償却前利益は 841mC\$となった。
- ・ 今期は債務負担削減計画も順調に進み、2008 年 10 月、Fording 社買収の際生じた 5,810mUS\$のつなぎ融資もほぼ全額支払われ、4,000US\$だった融資額は 2,740US\$に減額。Fording 社買収時の負債額は 4,600US\$減額した。

### (1) トピックス

- ・ 5 月、総額にして 4,225mUS\$の 5 年、7 年、10 年満期社債を発行し、その利益を、Fording 社買収の際生じたつなぎ融資の返済に充て、ほぼ全額完済。
- ・ 4 月 22 日に開かれた株主総会で、Teck Cominco Ltd. は会社名を Teck Resources Ltd. に変更することに合意。Teck Resources Ltd. が同社正式名称となった。
- ・ 石炭価格交渉の結果、128US\$/t 価格に従来の石炭取引先約 80%が合意した。2009 年の石炭販売量は年間生産ガイダンスで定められた 1,800~2,000kt を上回る見込み。
- ・ 4 月 30 日、住友金属鉱山(株)はアラスカの Pogo 金鉱山の権益 40%を 245mUS\$で Teck Resources から買収。住友金属鉱山(株)が既に所有している 51%の権益と合せ 91%の権益を獲得した。残りの 9%は住友商事(株)が所有。住友金属鉱山(株)と住友商事(株)は、Pogo 金鉱山の全権益を獲得。
- ・ 2009 年の加 BC 州 Highland Valley 鉱山の銅生産量は約 250mlb(113,398t)、2010 年は 185mlb(83,915t)が見込まれる。現在のマインライフは 2019 年までとされているが、延長が可能かを再検討することになった。延長の可能性は技術面、今後の銅の価格が大きく影響すると言われ、当地の第三機関による地質工学解析を依頼。調査は 2009 年 Q4 末までに終了する予定。

### (2) 財務状況

(単位:m C\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,839	1,571	1,805	1,800	1,663	3,415	1,708	1,707		
営業利益(注)	2,372	614	869	687	202	1,272	636	636		
当期損益 Net earnings	659	345	497	424	-607	811	241	570		
売上高利益率	9.6%	22.0%	27.5%	23.6%	-36.5%	23.7%	14.1%	33.3%		
探鉱費 Exploration	134	19	26	44	45	19	11	8		

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (k t)	260	45	52	79	84	152	74	78		
亜鉛鉱石 (k t)	663	175	171	168	149	340	167	173		
亜鉛地金 (k t)	270	74	61	70	65	118	58	60		
鉛地金 (k t)	85	26	20	18	21	38	19	19		
モリブデン (t)	3,228	735	774	770	949	1,665	851	814		
(k lb)	7,119	1,621	1,707	1,699	2,092	3,668	1,875	1,793		
石炭 (k t)	11,311	2,357	2,630	2,152	4,172	8,245	3,966	4,279		

注) 権益分のみ計上

② 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱山名(権益%)	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Red Dog (100) (Zn; k t)	516	139	130	132	115	280	137	143		
(Pb; kt)	123	36	32	29	26	63	32	31		
HighlandValley (97.5%) (Cu; k t)	116	26	27	30	33	56	27	29		
(Mo; t)	1,848	352	396	396	704	1,323	616	707		
(Mo; k lb)	4,074	776	873	873	1,552	2,918	1,358	1,560		
Antamita (22.5%) (Cu; k t)	78	17	21	20	20	36	18	18		
(Zn; k t)	79	17	21	22	19	45	21	24		
(Mo; t)	1,368	388	388	347	245	326	214	112		
(Mo; k lb)	3,015	855	855	765	540	719	472	247		
Teck Coal (100%)* (石炭:k t)	12,375	2,357	2,630	2,152	5,235*	8,245	3,966	4,279		

注) 権益分のみ計上

\* 2008年10月30日、Elk Valley40%の権益に加え Fording 社の60%を獲得し Teck が100%所有する Teck Coal となる。

## 11. Newmont

- ・2009年Q2のGAAPベースの純利益は、銅の実勢価格の低迷と、税率の引き上げに伴い、昨年同期の270mUS\$を下回り、171mUS\$となった。
- ・今期金出荷量は1.2m oz(37.3t)、平均実勢価格は915US\$/oz、キャッシュコストは423US\$/oz。

### (1) トピックス

- ・金の全体的な売上量での実績は、米NV州鉱山の出荷量は下がったものの、ペルーのYanacocha 鉱山、インドネシアのBatu Hijau 鉱山、豪州の鉱山からの出荷量が拡大したため、当初の見込み量を上回る結果となった。
- ・米NV州鉱山は5月の設備整備期間におけるMill 6の処理量縮小と品位の低下により、また岩盤崩落の問題対応でMidasunoの生産量を4月中大幅に減らしたことなどから、出荷量実績は見込み量を下回る結果となった。
- ・6月末、AngloGold Ashanti Australia から豪最大の金プロジェクトBoddington プロジェクトの権益33.33%の買収に成功した。これでNewmontはBoddington プロジェクトの100%の権益を獲得した。Boddington プロジェクトは5月現在で約96%の工事が終了しており、2009年中旬には生産を開始し、12か月のスケジュールでフル稼働に持って行く予定。フル稼働生産が開始されると、最初の5年間の年産金量で約1m oz/年生産が見込まれ、マインライフは20年以上と推定される。金埋蔵量は2007年の16.6m oz(516t)から2008年には20.1m oz(625t)に引き上げられた。
- ・豪・ニュージーランド地域の2009年の生産見通しが更新され、前回公表された1.5~1.6m oz(47~50t)から1.4~1.5m oz(44~47t)に引き下げられた。これは、Boddingtonの開始時期が予定よりも遅れ、同プロジェクトからの金出荷量が当初計画よりも減少するため。

### (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,180	1,943	1,503	1,392	1,342	3,154	1,552	1,602		
営業利益(注)	2,300	970	571	393	366	1,319	607	712		
当期損益 Net income	842	365	271	196	10	351	189	162		
売上高利益率	13.6	19.0%	18.2%	14.1%	0.7%	11.1	12.2%	10.1%		
探鉱費 Exploration	213	39	58	57	59	92	41	51		

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いた値であり、評価損等は含まない。例えば、売上1,410 m US\$-支出(金生産コスト630 m US\$+銅生産コスト98 m US\$+減価償却、減耗控除、債務償還163 m US\$)=591 m US\$。なお、総支出は2,211 m US\$となっており、探鉱セグメント評価損1,122 m US\$、研究開発費及び投資損等を含んでいる



(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	161.2	40.1	39.5	39.7	41.9	76.7	39.4	37.3		
(k oz)	5,184	1,290	1,271	1,277	1,346	2,465	1,267	1,198		
銅 (k t)	57	21	10	9	17	41	20	21		

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Nevada (権益 100%)	70	16.9	16.9	17.2	19.4	29.1	16.1	13.0		
(Au; 上段: t、下段: k oz)	2,260	543	542	552	623	935	518	417		
Yanacocha (権益 51.35%)	29	8.0	7.1	7.2	6.7	16.3	8.0	8.3		
(Au; 上段: t、下段: k oz)	929	257	227	230	215	521	256	265		
Batu Hijau (権益 45%)	57	15	11	14	17	40	17	23		
(Cu: k t)										

注) 権益分のみ計上

## 12. Barrick Gold

- ・2009年Q2の純利益は492mUS\$で、昨年同期485mUS\$と比較して約1.4%増しで大きな変動は見られなかった。
- ・北南米地域での業績が良かったことから、2009年Q2金生産量は1,870koz(58.2t)、キャッシュコストは452US\$/ozで見込量を超えた。年間生産ガイダンスでは、2009年の年間金生産量が7,200~7,600koz(223.9~236.4t)でキャッシュコストは360~385US\$/ozが示されているが、現在はこのガイダンスに沿った順調な伸びを見せている。

### (1) トピックス

- ・米NV州Cortez Hillの工事は予定どおり進行しており、現在60%終了。2010年の生産量は低いキャッシュコストで7,700~8,100koz(239.5~251.9t)まで増量が見込まれる。
- ・5月初旬、チリとアルゼンチンにまたがるPascua-Lama 鉱山開発工事許可が下り、必要機材の発注、など工事開始に向けた動きがあった。Pascua-Lama 鉱山のメインライフは25年と推定され、生産量も最初の5年は年間750~800koz(23.3~24.9t)見込まれる。キャッシュコストは20~50US\$と推定され、最もコスト価格の低い鉱山の一つになると注目されており、Barrick Goldにとって重要な鉱山となるとの期待が高い。
- ・タンザニアのBuzwagiプロジェクトも予定どおり、工事が進んでおり、その他ドミニカ(共)のPueblo Viejo、Cortez HillやPascua-Limaなどの工事も予定どおり順調に進捗しており、今後、すべてのプロジェクトがフル稼働すると現在のキャッシュコストより低い平均コストで産金量2,600koz(80.9t)の生産が見込まれる。

### (2) 財務状況

(単位:m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	7,913	1,958	1,967	1,878	2,110	3,856	1,827	2,029		
営業利益	3,004	942	821	588	653	1,398	611	787		
当期損益 Net Income	785	514	485	254	-468	863	371	492		
売上高利益率	9.9%	26.3%	24.7%	13.5%	-22.2%	22.4%	20.3%	24.2%		
探鉱費 Exploration	216	43	54	55	64	67	32	35		

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	238.2	54.2	57.8	60.5	65.7	112.7	54.6	58.1		
(k oz)	7,657	1,743	1,857	1,945	2,112	3,621	1,755	1,866		
銅 (k t)	166	39	39	39	49	87	43	44		

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Porgera* (Au; t)	19.5	4.5	4.7	5.1	5.2	8.5	4.6	3.9		
(Au; k oz)	628	144	152	165	167	278	150	128		
Cortez* (Au; t)	13.2	2.6	3.2	3.1	4.3	6.4	2.8	3.6		
(Au; k oz)	427	83	103	102	139	210	92	118		
Lagunas Norte (Au; t)	36.4	7.3	8.1	10.9	10.1	15.3	7.3	8.0		
(Au; k oz)	1,175	234	262	353	326	498	237	261		
Zaldívar* (Cu; kt)	133	33	31	29	40	68	34	34		

注) \*印は旧 Placer Dome 所有鉱山

### 13. Grupo Mexico (GM)

- ・2009年Q2の売上高は前年同期比39.8%減の10.59億US\$、同じく当期利益は47.3%減の2.38億US\$に留まったが、前期業績からは大きな回復を見せた。
- ・Cananea銅山のストは依然として未解決。

#### (1) トピックス

- ・2009年Q2の売上高は1,058,977k US\$ (前年同期比39.8%減)、当期利益は238,194k US\$ (同47.3%減)となり、金属価格の回復により2009年Q1からは大きく持ち直した。
- ・労働社会福祉省(STPS)が、Cananea銅山全従業員の解雇を認める裁定を4月14日付けで下したが、労組が徹底抗戦の構えを見せているため、同銅山操業再開の目処は立っていない。
- ・Asarco社は依然として米国破産法第11条に基づく会社更生手続の途上にある。
- ・ペルーのTia Maria銅山開発のための基礎設計と環境影響調査が完了し、現在は詳細設計を実施中。同プロジェクトの開発費は12億US\$から9.34億US\$に減額される予定。
- ・Toquepala銅山の選鉱プラント拡張プロジェクトには、2009年6月末までに72百万US\$を投資。現在実施中の環境影響評価は2009年Q4に完了予定。詳細設計は2009年Q3から開始予定。
- ・La Caridad精錬所の煙灰・排ガス処理プラント工事は5月に完了(総工費15百万US\$)。試験運転を経て、2009年7月から稼働予定。
- ・公正取引委員会(CFC: Comisión Federal de Competencia)は、鉄道部門のFerrosur社買収が独占禁止法に抵触するとの最終判断を6月9日付けで下した。GMは、本件を法廷闘争に持ち込む予定。

#### (2) 財務状況

(単位: m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1(注)	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	5,945.7	1,736.1	1,758.2	1,737.6	713.8	1,883.1	824.1	1,059.0		
当期損益 Net Income	1,071.2	452.6	451.7	342.1	-175.2	256.6	18.5	238.1		
売上高利益率	18.0%	26.1%	25.7%	19.7%	-24.5%	13.6%	2.2%	22.5%		
全投資額(*)	730.1	97.7	172.1	186.3	274.1	269.5	85.5	184.0		

(\*) 探鉱費のほか他の投資額を含む全額

(注) Q1の発表から修正あり

#### (3) 生産状況(主要鉱産物)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (k t)	488.9	127.9	117.3	118.7	125.2	239.1	119.8	119.3		
銀 (t)	383.0	96.1	95.8	94.5	96.6	202.4	97.8	104.6		
金 (k g)	465.0	127.0	112.0	113.0	113.0	232	116.0	116.0		
モリブデン (k t)	16.39	3.92	3.90	4.54	4.03	8.45	4.06	4.39		
亜鉛 (k t)	106.9	24.8	27.6	26.9	27.7	54.6	27.0	27.6		
鉛 (k t)	20.4	5.2	5.3	5.0	5.0	11.2	5.3	5.9		

(4) その他

- ・ GM の製錬所は、MM 3、SCC 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM の純益は、前期 19.6m US\$、当期 40.0m US\$と安定収益を確保。

(参考)GM の組織 (( )内は権益比率)

鉱業部門 : AMC (100%) — SCC (AMC : 80%) — MM (SCC : 100%)

└ ASARCO (100%) 【米破産法申請中(2009年9月24日現在)】

鉄道部門 ITM (75%) — GFM (ITM : 74%) — FERROMEX (GFM : 100%)

└ FERROSUR (ITM : 100%)

(注) SCC (Southern Copper Co.) は、SPCC (Southern Peru Copper Co.) から社名変更 (2005/10/11)。

## 14. KGHM Polska Miedz

- ・2009年Q2の売上高は、銅価格の下落等により前年同期比10%減の2,722mPLN。当期営業利益は、銅・銀価格の下落、銅販売量の減少等により、前年同期比36%減の674mPLNとなったものの、株式配当等の営業外利益の増加により、当期利益は、前年同期比1%増の845mPLNとなった。

### (1) トピックス

- ・2009年Q2の生産量は、電気銅が116k t(外部からの調達原料22k tを含む)、銀が295 tであった。
- ・売上高は、対US\$平均レート3.27 PLN/US\$(前年同期2.18 PLN/US\$)とPLN安となったものの、銅の平均LME価格が4,676 US\$/t(前年同期8,448 US\$/t)と大幅に下落し、また、銀の平均LBM価格も13.76US\$/oz(前年同期17.18US\$/oz)と下落した。銅販売量も125k tと(前年同期133k t)減少し、売上高は、前年同期比10%減となった。
- ・操業コスト(Operating Costs)は、2,047m PLNで、前年同期比3.7%増(72m PLN増)となった。賞与等の増加による人件費の増加、電力料金の上昇等により操業コストが増加した。

### (2) 財務状況

(金額単位：mUS\$(mPLNを期末レートでUS\$換算))

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	4,273	1,346	1,429	1,147	862	1,519	671	858		
	(12,655)	(3,002)	(3,029)	(2,720)	(2,552)	(5,099)	(2,377)	(2,722)		
当期利益 Profit for the period	934	440	393	303	131	272	177	89		
	(2,766)	(982)	(832)	(718)	(388)	(912)	(628)	(284)		
売上高利益率 (%)	21.9%	32.7%	27.5%	26.4%	15.2%	17.6%	26.4%	10.4%		
為替レート (PLN/US\$)	2.9618	2.2305	2.1194	2.3708	2.9618	3.1733	3.5416	3.1733		

※為替レートはIMFによる期末値。

※四半期の集計値と年計(アニュアルレポート掲載値)は合致しない。

### (3) 生産状況

#### 主要鉱産物の生産状況

(単位：t 純分)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅地金(t)	526,947	128,947	129,000	133,000	136,000	240,000	124,000	116,000		
銀(t)	1,193	292	308	253	340	607	312	295		

### (4) その他

- ・特になし

## 15. Antofagasta Plc

- ・2009年Q2の銅生産量は106,300tで対同年前期比7.2%減となった。これは主としてLos Pelambres 鉱山鉱石の硬度増による鉱石処理量低下による(粗鉱品位上昇と選鉱実収率改善で一部offset)。
- ・モリブデン生産量(Los Pelambres 鉱山)は2009年Q2が2,000t、H1が3,700tで、2008年H1をやや下回った。
- ・副産物クレジット(モリブデン)を含む2009年Q2のキャッシュコストはQ1と同様97.5¢/lbで、前年同期の72.2¢/lbより26.3%増であった。これは、主として2009年H1のモリブデン価格(9.7¢/lb)が、前年同期(33.6¢/lb)から大きく下落したことによる。
- ・2009年初頭から開始したコスト削減計画及び市場コスト減(対前年比)により、2009年H1の副産物クレジットを除くキャッシュコストは116.0¢/lbで、前年同期の130.6¢/lbから11.2%減を達成。

### (1) トピックス

- ・Los Pelambres 鉱山：2009年末の完了に向け拡張工事は順調に進み、2009年6月末の進捗率は61%。  
※粗鉱処理量を130千t/日から175千t/日に拡大し、年間銅生産量を90千t増大する計画。
- ・El Tesoro 鉱山：2009年H1の銅生産量が前年同期比より14%減となったが、これは主として銅品位低下と実収率低下に起因する。North-East 鉱床の生産が2009年4月から開始した。
- ・Michilla 鉱山：2009年H1の銅生産量が前年同期比より11%減となったが、これは生産コストの高いLince 鉱床の露天採掘を2009年Q1に停止したことが一因である。2009年Q2の銅生産量がQ1より18%減となったのは、主として低品位貯鉱からの給鉱割合を増やしたことによる。
- ・Esperanza 鉱山開発プロジェクト：2009年5月に開発費用に係るプロジェクト・ファイナンスの融資契約(1,050百万US\$；償還期間12年)を締結。2010年末の操業開始に向け工事は順調に進み、2009年6月末の進捗率は47%。  
※銅191千t/年、金6.7t/年、銀34.2t/年生産予定(モリブデンは2015年より生産予定)
- ・Antucoya 銅プロジェクト：FSが計画どおり進行中。2010年末にFS完了予定。  
※Michilla 鉱山の東方約45kmに位置する。Michilla 鉱山 SxEw プラントへの鉱石供給を目的として、2006年4月にSQM(チリ)より8百万US\$で買収(埋蔵量322百万t、Cu 0.4%)。
- ・パキスタン Reko Diq 銅・金プロジェクト：FSが計画どおり進行中。2009年7月にプレFS完了予定。  
※パキスタン Balochistan 州のアフガニスタン及びイラン国境近くに所在し、Antofagasta 及び Barrick Gold が各々37.5%、Balochistan 州政府が25%権益を保有(資源量4,100百万t、Cu 0.50%、Au 0.30g/t)。
- ・2009年7月に、チリ第Ⅱ州 Mejillones に150MWの石炭火力発電所を建設している Inversiones Hornitos S. A. 社の40%権益をオプション権行使により取得(残り60%権益はGDF Suez 社が所有)。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008年			2009年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	3,372.6	2,407.0	965.6	1,178.3	1,178.3	
当期利益	842.9	792.8	50.1	235.7	235.7	
売上高利益率(%)	25.0	32.9	5.2	20.2	20.2	
探鉱費	54.9	22.4	32.5	31.3	31.3	

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石(k t)	477.7	114.6	119.0	123.7	120.4	218.2	111.9	106.3		
モリブデン鉱石(k t)	7.8	1.8	2.0	1.9	2.1	3.7	1.7	2.0		
キャッシュコスト(¢/lb)	87.3	72.2	72.3	76.4	127.7	195	97.5	97.5		

※銅精鉱中の Payable Copper 量

キャッシュコスト：加重平均コスト(副産物クレジット含む)

② 主要保有鉱山の銅生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Los Pelambres (60%)	339.2	79.1	84.7	90.0	85.4	157.5	80.2	77.3		
El Tesoro (70%)	90.8	23.9	22.7	21.5	22.6	40.1	20.4	19.7		
Michilla (74.2%)	47.7	11.5	11.6	12.3	12.3	20.7	11.4	9.3		

※Los Pelambres：銅精鉱中の Payable Copper 量

El Tesoro、Michilla：銅地金量



## 16. Peñoles

- ・ 2009 年 Q1 の売上高 (Net Sales) は 676.8m US\$ (前年同期比 50%減) に留まったが、当期損益は 200.4m US\$ の黒字 (同 68%減) なり、業績は回復傾向。

### (1) トピックス

- ・ 金属価格の低迷及び Torreon 鉛精錬所のストによる金・銀・鉛の減産により、2009 年 Q2 の売上高は 676.8m US\$ に留まった。一方、当期損益は 200.4m US\$ の黒字となり、17.7m US\$ の損失を計上した前期から大幅な回復を見せた。
- ・ 鉛精錬所のストは 2 月 8 日～4 月 14 日の 66 日間に及んだが、会社側提案の給与 6% 増、福利厚生費 1% 増及び 1% の特別ボーナスの支給を労組が受け入れ、解決に至った。
- ・ Durango 州の Velardeña 多金属プロジェクトは初期探鉱が終了し、36 百万 t の資源量を捕捉。現在、プレ FS を実施中。

### (2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales	4,835.5	1,365.2	1,357.4	1,214.1	898.8	1,347.3	670.5	676.8		
当期損益	704.9	94.3	623.0	87.4	-99.8	182.7	-17.7	200.4		
売上高利益率	14.6%	6.9%	45.6%	7.2%	-11.1%	13.6%	-2.6%	29.6%		

(注) Peñoles 社クォーターレポートには「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載の Peso 建ての金額と四半期毎の平均レートをを用い US\$ に換算した (平均レートは、2008 年 Q1 10.8101 Peso/US\$、Q2 10.4374 Peso/US\$、Q3 10.3113 Peso/US\$、Q4 12.9859 Peso/US\$、2009 年 Q1 14.3623 Peso/US\$、Q2 13.3578 Peso/US\$ である)。

## (3) 生産状況(主要鉱産物)

(純分)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金鉱 (kg)	11,897	3,136	3,095	2,749	2,917	6,281	3,056	3,225		
金地金 (kg)	56,261	14,315	14,260	13,059	14,628	11,475	5,791	5,684		
銀鉱 (t)	1,433	348.6	369.8	362.3	351.8	770	381.7	388.3		
銀地金 (t)	3,678	852.1	929.9	960.8	935.7	895.1	364.1	531.0		
鉛鉱 (t)	61,296	15,070	15,531	15,356	15,339	31,677	15,632	16,045		
鉛地金 (t)	141,395	35,788	36,168	34,243	35,196	41,653	13,755	27,898		
亜鉛鉱 (t)	182,855	45,644	46,004	45,229	45,978	94,532	46,879	47,653		
亜鉛地金 (t)	224,556	49,774	57,330	56,469	60,983	116,057	60,819	55,238		
銅鉱 (t)	27,219	5,835	6,677	7,123	7,583		n.d.	n.d.		
銅地金 (t)	7,289	1,879	1,883	1,491	2,036		n.d.	n.d.		
ビスマス (t)	1,133	234	312	307	280		n.d.	n.d.		

## (4) その他

Peñoles の主要鉱山は、Fresnillo (フレスニージョ : 金・銀・鉛・亜鉛)、La Herradura (ラ・エラドゥーラ : 金・銀)、La Cienega (ラ・シエネガ : 金・銀・鉛・亜鉛)、Francisco I. Madero (フランシスコ・I・マデーロ : 亜鉛・鉛)、Tizapa (ティサパ : 金・銀・鉛・亜鉛・銅)、Bismark (ビスマルク : 亜鉛)、Naica (ナイカ : 銀・鉛・亜鉛・銅)、Sabinas (サビナス : 銀・鉛・亜鉛・銅)、Milpillas (ミルピージャス : 銅(2006 年生産開始))である。

## 17. PT Antam

- ・売上高 1.8 兆 Rp。前期比 34%、前年同期比 44%それぞれ減。金トレーディング量減による。
- ・フェロニッケル生産量 2,786t。前期比 15%、前年同期比 33%それぞれ減。
- ・ニッケル鉱石生産量 178 万 t。前期比 68%増、前年同期比 5%減。

### (1) トピックス

#### ①Pomalaa フェロニッケル製錬所 3 号炉修繕

南東スラウェシ州にある Pomalaa フェロニッケル製錬所 3 号炉の修繕を 5 月中旬から開始、運転再開は 9 月を予定。耐火煉瓦が弱くなった部分で金属熔液漏出の兆候が見られたため、7 月から予定していた修繕を早めたもの。修繕では冷却装置の交換なども行う。この修繕で年後半に見込まれるニッケル価格上昇時のフル生産に備えたいとしている。また、年産 12 千 t の計画に変更はないとしている。

### (2) 財務状況

(金額単位：mUS\$又はmIDR)

年(暦年) 四半期	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales〔①〕(mIDR)	9,591,981	2,091,781	3,129,945	2,232,094	2,105,751	4,396,985	2,641,606	1,755,379		
〃 (m US\$)	<b>(1,000.3)</b>	<b>(226.5)</b>	<b>(337.8)</b>	<b>(242.1)</b>	<b>(190.9)</b>	<b>(397.3)</b>	<b>(231.0)</b>	<b>(166.7)</b>		
当期利益 Net Income〔②〕(mIDR)	1,368,139									
〃 (m US\$)	<b>(142.7)</b>									
売上高利益率〔③=②/①〕	14.3%									
輸出額 Export Sales(mUS\$)	<b>775.8</b>	<b>209.5</b>	<b>307.1</b>	<b>173.9</b>	<b>135.9</b>	<b>261.8</b>	<b>131.6</b>	<b>130.2</b>		
・FeNi(mUS\$)	<b>371.0</b>	<b>35.4</b>	<b>173.5</b>	<b>105.2</b>	<b>58.2</b>	<b>85.9</b>	<b>12.1</b>	<b>73.8</b>		
・ニッケル鉱石(mUS\$)	<b>306.7</b>	<b>126.9</b>	<b>94.2</b>	<b>53.1</b>	<b>35.8</b>	<b>64.1</b>	<b>22.4</b>	<b>41.7</b>		
高品位鉱(Ni 2%超)(mUS\$)	<b>220.7</b>	<b>77.8</b>	<b>69.8</b>	<b>44.1</b>	<b>32.4</b>	<b>50.2</b>	<b>18.6</b>	<b>31.6</b>		
低品位鉱(Ni 2%以下)(mUS\$)	<b>86.0</b>	<b>49.1</b>	<b>24.4</b>	<b>9.0</b>	<b>3.4</b>	<b>13.9</b>	<b>3.8</b>	<b>10.1</b>		
・金(mUS\$)	<b>74.4</b>	<b>42.8</b>	<b>31.0</b>	<b>8.9</b>	<b>37.6</b>	<b>105.4</b>	<b>93.6</b>	<b>11.8</b>		
・銀(mUS\$)	<b>7.4</b>	<b>2.9</b>	<b>2.5</b>	<b>1.1</b>	<b>1.0</b>	<b>3.6</b>	<b>2.3</b>	<b>1.3</b>		
・ボーキサイト(mUS\$)	<b>16.3</b>	<b>1.5</b>	<b>6.0</b>	<b>5.7</b>	<b>3.3</b>	<b>2.8</b>	<b>1.2</b>	<b>1.6</b>		
国内出荷額 Domestic Sales(mIDR)	2,095,404	156,941	285,172	633,847	598,950	1,461,594	1,092,677	368,917		
〃 (m US\$)	<b>&lt;219.0&gt;</b>	<b>&lt;17.0&gt;</b>	<b>&lt;62.0&gt;</b>	<b>&lt;68.8&gt;</b>	<b>&lt;54.3&gt;</b>	<b>&lt;132.1&gt;</b>	<b>&lt;95.8&gt;</b>	<b>&lt;35.0&gt;</b>		
[参考]為替レート(IDR/US\$)	9,589	9,237	9,265	9,218	11,028	11,067	11,434	10,531		

※2008 年計の売上高及び当期利益はアニュアルレポートから、それ以外のデータは四半期報告から転記した。各四半期の集計値と年計とは合致しないことがある。

※為替レートは Antam クォーターレポート掲載の期中平均値である。

※太字は US\$、斜体字は為替レートからの換算値 (JOGMEC が換算) である。

### (3) 主要鉱産物の生産状況

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
フェロニッケル(t)	17,566	4,362	4,152	5,512	3,540	6,082	3,296	2,786		
ニッケル鉱石(wmt)	6,571,764	2,351,067	1,878,403	1,076,873	1,265,421	2,835,425	1,058,350	1,777,075		
High Grade* (wmt) (品位 Ni 2%超)	4,027,520	996,297	1,258,111	815,413	957,699	1,467,980	554,774	913,206		
Low grade* (wmt) (品位 Ni 2%以下)	2,544,244	1,354,770	620,292	261,460	307,722	1,367,445	503,576	863,869		
金(kg)	2,833	935	577	561	761	1,359	715	644		
銀(kg)	25,348	7,633	5,734	5,162	6,820	11,794	6,250	5,544		
ボーキサイト(wmt)	1,152,322	181,141	339,286	511,379	120,516	333,066	265,971	67,095		

(4) 探鉱

当期の探鉱費は、ラテライトニッケル、金、ボーキサイト及び石炭を対象に 184 億 Rp を支出した。うちニッケル探鉱分は 58 億 Rp、金は 94 億 Rp、ボーキサイトは 28 億 Rp、石炭は 4 億 Rp。探鉱地域は次のとおり。

<ニッケル>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
ハルマヘラ	Buli	ボーリング調査 2,518m ほか	3,200
	Pakal	ボーリング調査 790m ほか	
南東スラウェシ	Mandiod	ボーリング調査 3,388m ほか	2,500
	Tapunopaka	ボーリング調査 3,974m ほか	
	Bahubulu	マインデザイン	

<金>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
アチェ	Central Aceh, Naganraya	岩石分析ほか	112
北スマトラ	North Tapanuli	地質準精査 1,698ha ほか	276
ジャンビ	Muara Maderas	ボーリング調査 51m ほか	1,100
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査 6,495m ほか	5,700
	Papandayan	地質精査 340ha ほか	497
中央ジャワ	Tirtomoyo, Jatisrono	地質精査 109ha ほか	340
	Ajibarang, Kebasen	地質精査 172ha ほか	211
南東スラウェシ	Wowoni, Kolono	地質精査 59ha ほか	402
	Ranteangin	広域地質概査 7,685ha ほか	154
西スラウェシ	Mao, Batuisi, Karosa	地質準精査 1,846ha ほか	654

<ボーキサイト>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
西カリマンタン	Mempawah, Landak	グリットテストピット	1,700
	Munggu Pasir	グリットテストピット	725
	Tayan	グリットテストピット	327

合併事業は以下のとおり。

合併企業	鉱種	PT Antam 権益(%)	パートナー	ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest Singapore Holding Pte Ltd	生産
PT Dairi Prima Minerals	鉛・亜鉛	20	Herald Resources	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet(Weda Bay Minerals)	プレ FS
PT Sorikmas Mining	金	25	Oropa Ltd.	探鉱
PT Gorontalo Minerals	金	20	PT Bumi Resources	休止
PT Sumbawa Timur Mining	金	20	Eastern Star Resources	休止
PT Pelsart Tambang Kencana	金	15	Pelsart International NL, Australia	休止

## II. 中国企業の銅生産統計

### 銅地金生産企業

企業名	2008年												1~6 月計	年計(注)	対前年比 2008/'07
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	50,091	59,373	59,557	69,390	63,200	63,775	62,474	63,055	64,865	56,861	59,050	30,978	365,386	702,669	27.00%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	48,002	43,562	51,547	55,568	63,431	55,337	56,776	56,674	50,780	51,471	53,628	59,366	317,447	646,142	3.63%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	14,102	18,650	34,900	42,383	40,607	42,581	40,286	39,468	30,232	24,065	34,942	25,448	193,223	387,664	-10.93%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	20,880	19,615	22,455	22,621	23,082	24,040	24,504	21,171	20,807	21,618	24,184	19,647	132,693	264,624	7.21%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	17,502	19,560	20,589	24,707	24,001	22,002	21,999	20,999	28,316	28,831	31,097	30,376	128,361	289,979	10.23%
主要5社合計	150,577	160,760	189,048	214,669	214,321	207,735	206,039	201,367	195,000	182,846	202,901	165,815	1,137,110	2,291,078	

(注) 1-12 月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

企業名	2009年												1-6月計 (注)	対前年比 2009/'08	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	52,325	63,502	61,781	64,919	62,465	65,863								370,855	1.50%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	57,312	51,283	56,698	52,451	51,764	46,308								315,816	-0.51%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	6,830	18,460	19,437	25,048	27,503	27,605								124,883	-35.37%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	21,350	20,075	20,240	18,564	20,790	19,075								120,094	-9.49%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	32,411	33,432	26,284	28,939	28,111	28,282								177,459	38.25%
主要5社合計	170,228	186,752	184,440	189,921	190,633	187,133								1,109,107	

出典：安泰科